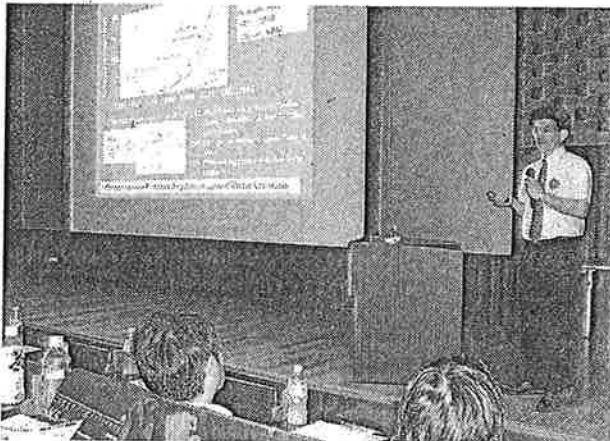


新事業創出へ連携強化を

新エネルギーなど成長分野の共同研究や事業化支援を進める「ひょうご産学官連携研究会」が2日、発足した。神戸・ポートアイランドの神戸大統合研究拠点で同日、設立セミナーを開き、海水の淡水化や再生可能エネルギーの市場動向などについて専門家が講演、参加者の関心を集めた。

同研究会は、県内の企業や大学の研究機関、新産業創造研究機構(NIRO)、兵庫工業会などが連携して新事業の創出などを目指す。企業47社と研究者ら22人が会員登録した。「新エネルギー」と「環境・資源・リサイクル」の2分野で研究会を設け、年4回の勉強

産官学研究会 神戸で設立記念セミナー



「ひょうご産学官連携研究会」の設立を記念したセミナー。海水の淡水化など研究内容が紹介された＝神戸市中央区港島南町7、神戸大学統合研究拠点

強会を開く。

セミナーには企業や大学の研究者ら約250人が参加し、神戸大先端膜工学センター長の松山秀人氏らが講演した。松山センター長は、海水の淡水化など水資源の確保に役立つ膜工学への関心が世界的に高まっている状況を説明。「世界トップの技術力を守っていくためにも企業との連携強化が必要」と話した。

(桑名良典)